



第76号

(年4回発行)

編集発行

弘前学院大学
広報委員会

印刷所

(有)小野印刷所

2019(令和元)年度入学式挙行



宣誓者福原さんと吉岡学長

4月3日(水)、2019年度弘前学院大学並びに大学院の入学式を行いました。

多くのご来賓
部第15回、大学院社会福祉学
院大学並びに大学院の入学式
を行いました。

の方々や保護者の皆様のご参列をいただき、晴れやかな中にも厳粛な雰囲気にも包まれて、文学部第49回、社会学部第21回、看護学部第15回、総勢166名の学生が入学されました。

弘前学院外人宣教師館・礼拝堂 春の特別公開

特別公開プロジェクトチーム

3年目と
なった春の特
別公開、今年
は季節外れの
雪の心配も心
配されました
が、それを吹
き飛ばすチー
ムワークと全
国から700
名を超える集
客で、大変好
評に終えるこ
とができた
。「青い
目の人形と
青森」と題し
た宣教師館で



(4面に続く)



の展示は次の学生の感想の通りです。聖愛高校チアリーディングSPGやハンドベル・クワイアによるパフォーマンス、聖愛中高校の学校紹介といった恒例企画は地域の期待に、駐車場の開放は県外者のニーズに応えることとなりました。さらに今年には礼拝堂では竹佐古真樹先生によるパイオルガンの録音演奏、弘前市との連携事業であるHug Work(社会福祉施設による飲食・雑貨販売)の出店、3学部、3学部の学生・教職員が協力し新しいキャンパスを生かした企画を実施しました。

弘前学院大学と青山学院大学協定式

2019年(令和元年)5月15日(水) 16:00

弘前学院大学学長 吉岡 利忠

2019年(令和元年)5月15日(水)午後4時から青山学院大学と弘前学院大学との協定調印式が、今年2月に竣工したばかりの新しい校舎一階館2階の大会議室において執り行われ、本学沿革の歴史の一つを飾ることになりました。当日は青山学院大学三木義一学長、白濱哲郎学長が調印式のために本学にお出でになりました。この調印を結ぶにあたり青山学院大学の教職員の皆さまに本学を代表して心からお礼を申し上げます。



さらに弘前市出身の笹森順造先生は第7代院長として青山学院の歴史を刻んでおります。本多、阿部、笹森3人の先生方がこのみちのく津軽出身ということとは私共の誇りとするところでもあります。

昨年、2018年(平成30年)7月13日(金)に、青山学院校友会青森県支部創立75周年を祝う会が弘前教会で開催され、青山学院から第15代山本与志春院長および前田美智子校友友会副会長がお見えになりました。その機会に、本学の阿保邦弘理事長と一緒させて頂き、阿保理事長の意向もあり青山学院と何かしらの結びつきが可能かどうか山本学院院长にお願いしました。それ以前にも第13代山本宣久院長、第14代梅津順一先生にもさまざまな会議や会合でお会いし、また、IANSOC、世界80か国1,000教育機関で構成している国際メソジスト派学校・大学教育機関の集まりや、そして、青山学院で開催されました本多庸一先生召天100周年記念式典の銅像の除幕式の時にも、そのことを告げておりました。そして、今回、山本与志春院長のご助言を頂き三木学長とお会いすることができました。

中長期目標実施計画の確立・実践に向けて

学校法人弘前学院
理事長・学院長 阿保 邦弘



「中長期目標実施計画」の確立・実践に向けて

十一「大学入試改革再考」

前号では、入試地獄を緩和するために共通一次テストが導入

されたと述べた。

全国の各高校では、新テスト実施年度前にすでにそれに合わせた入試対策をスタートさせていた。校内研修を数多く重ね、外部研修への参加はもちろん、入試を専門とする関係者からの情報収集に努めた。新入試制度に直面した当事者側では、そのことに対しての侃々諤々の議論を傍目に見ながらも素早く対応していた。呼応して、予備校はもちろん新旧の受験産業も対策を講

はじめ、共通一次を想定した全国規模の模擬試験を実施するようになった。

誰でも知っている大手予備校は、衛星放送を使って全国ネットワークで授業を配信するなど、三大予備校の頭文字を取って「SKY戦争」と呼ばれた時代である。受験会社は、大学受験だけでなく小中高受験にも深く入り込むことに成功し、大規模な受験専門企業にまで成長した。しかし、ここで想像もしていなかった大きな問題にぶつかることになる。受験会社や予備校が年々数回実施する模擬試験の難易度を、まったく同じにするこ

技術的に不可能だということが分かったのである。

例えば、一回目の模擬試験で50点、二回目の模擬試験で60点を取ったとしても、二回目の全国順位が下がるといふ事例が出てきた。そこで、その逆転を意味づけるために生み出されたのが偏差値である。通常、テストの得点分布にはばらつきがある。仮に、2回のテストの平均点が50点でも、同じような得点分布になるとは限らない。

1回目は50点近くに大きな山があり、2回目は50点中心にして、山がな山にならなければ、ばらつきが

きかったと仮定する。その条件下では、ある人が2回とも60点だったとしても、2回目の方が全体の得点にはばらつきが大きいので順位自体は下位となる。つまり、得点だけでは受験者の順位は分からないが、偏差値の出現によってテストを受けた集団の中の位置を知ることができるようになったのである。平均点をとった人の数値を50として、そこからどれだけ上位か下位かを示すことができるので、ある受験者が集団のどこに位置するのかわかりやすい数値だということになる。

大学では一般的に入学定員が定められていて、その限られた定員の中に入れるかどうかを予想する手段としては大変役立つ数値である。しかし、模擬試験の結果をもとに大学のランキング表が作られると、偏差値の位置づけが変わってきた。大学に付けられた偏差値ランキングが絶対視されるようになり、大学そのものの格付けに用いられるようになった。

その結果、偏差値によって大学の序列化を不当に招いているという批判が噴出した。そして、偏差値の存在そのものが問われる事態となった。



談話室

「剥けがら節供」
—フィールド・ワークより

文学部・文学研究科 教授 入江 英弥



筆者は、これまでさまざまなところでフィールド・ワークを行ってきた。近年では、津軽において調査を進めていた。おもには、「年中行事」と、伝説)について地元の方々から聞き取り調査を実施している。

昨年八月には、民俗調査を共同で行うことを目的とした有志の団体である「古々路(ここじ)の会」の合同調査に参

加し、津軽半島北端に位置する今別町斐月(ほろづき)において調査を行った。その際に、家の年中行事について地元の小倉さんから貴重な話をお聞きすることができた。その中で、「剥(む)けがら節供」の話が印象深かった。ここに紹介したいと思う。

六月一日は「剥けがら節供」と呼ばれ、「蛇の皮が剥ける日だ」といわれる。この日に畑に絶対に行つてはならない。ある人がこの日に畑に行つたところ、蛇が白いものをかぶつていた。見られたくなかつた

この日が、蛇が成長するにつれて剥け変わるように、切り替わる日であることから、このように説明するようにならなければならない。一年の節目の日であることを意味しているらしい。

また、この日に「畑に行つてはならない」といい、人が家にもつていなければならなかつた。これは、この日が忌みごもりの日であることを示している。

沢沢敬三の『犬歩当棒録』ではないが、歩けば必ず何かしら不思議なこと、興味深いことに出会える。今後もフィールド・ワークをしながら研究を進めていきたい。

研究紹介④④
iPS細胞を用いた冠攣縮性狭心症病態の解明について

看護学部 講師 田中 真実



弘前学院大学に赴任して、7月で3カ月になります。今回は、前職場であり現在は客員研究員である、国立大学法人弘前大学大学院医学研究科で行っている冠攣縮性狭心症病態解明の研究を紹介したいと思います。

冠攣縮性狭心症とは、心臓の表面を走行する比較的太い冠動脈が一過性に異常に過収縮を起こし心筋虚血を生じる病態で、胸痛や圧迫感などの症状が起こります。冠攣縮は

男性に起こりやすく、特に喫煙は大きな危険因子です。そのほか、不眠、過労、ストレス、アルコールの飲みすぎなども発作の誘因となります。これらは、動脈硬化を進める原因にもなります。その冠攣縮性

狭心症のメカニズムは未だ明らかになっていません。私はこの謎に挑み、より効果的な狭心症の治療法などにつなげるために研究を進めています。

これまで、冠攣縮性狭心症患者の皮膚線維芽細胞を用いた研究で、血管収縮に関わる Phospholipase C (PLC) 活性の亢進、PLC 活性亢進分子である p122 蛋白の発現亢進、並びにアセ

チルコリン刺激に対する細胞内カルシウム反応の亢進を明らかにしてきました。更に p122 蛋白の血管平滑筋特異的過剰発現マウスを作製し病態を明らかにしてきましたが、同時に病態解明の決定打が出ず一連の研究に限界を感じていました。そんななか、山中伸弥教授らのグループによる iPS 細胞の研究は、近年の再生医療と病態解明への急速な発展の起爆剤となつてい

ることを知りました。冠攣縮性狭心症患者から直接冠動脈平滑筋を採取することが技術的あるいは倫理学的問題から不可能であることから、この iPS 細胞技術の発展は、この限界を打破する最新技術であると考え、患者由来 iPS 細胞から血管平滑筋細胞を作製し病態の解明を行うことにしました。

冠攣縮性狭心症は冠動脈平滑筋の過収縮を特徴とする疾患であることから、患者さんから採取した皮膚線維芽細胞を用いてまず患者由来 iPS 細胞を作成し、その後、血管平滑筋細胞に分化誘導しました。その iPS 細胞由来血管平滑筋細胞をアセチルコリンで刺激することで、世界で初めて、細胞内カルシウム上昇を確認し、試験管内で疾患を再現することに成功しました。そのメカニズムを解明したところ、細胞内カルシウム流入に関わるイオンチャネルの蛋白が冠攣縮性狭心症患者で健常者と比べ、多く発現していることが判明しました。このことからイオンチャネルを介した細胞内カルシウムの過剰流入が冠動脈攣縮の因果的役割をはたしていることが示唆されました。これら分子機構の解明は、今後の冠攣縮性狭心症の新しい治療につながる

二〇一九年度 特待生授与者

二〇一九(令和元)年度の弘前学院大学特待生に、五月二十九日(水)十二時より賞状の授与が行われた。今年度の授与者は次の方々です。

- ◆文学部
 - 2年 鈴木 滋
 - 3年 下山あり紗
 - 4年 木村 優子
- ◆社会福祉学科
 - 2年 野呂 汐里
 - 3年 須藤 咲季
 - 4年 安保 佑香

- ◆看護学科
 - 2年 工藤 真生
 - 3年 清水 麻以
 - 4年 小浜 海都

*一年生については、前期成績発表後の十月に授与予定です。



人事異動

- ◆新任紹介
 - 文学部 講師 松橋 俊輔
 - 社会福祉学部 特任准教授 奈良岡 裕
 - 講師 駒ヶ嶺裕子
 - 助教 高橋 未央
 - 看護学部 教授 土屋 陽子
 - 准教授 井澤美樹子
 - 准教授 木村美智子
 - 准教授 館山 光子
 - 講師 田中 真実
- ◆退職
 - 文学部 講師 原 圭寛
 - 社会福祉学部 教授 北村 繁
 - 講師 佐藤 真一
 - 看護学部 教授 矢嶋 和江
 - 助教 石田 萌
 - 事務職員 図書館 幸田 寿子
- ◆看護学部
 - 教授 柳澤 尚代
 - 看護学科長 教授 土屋 陽子
 - 学務主任 准教授 木村美智子
 - 学生主任 教授 大瀬富士子
- ◆社会福祉学部
 - 教授 西東 克介
 - 学務主任 講師 丸山 龍太
 - 学生主任 講師 駒ヶ嶺裕子
- ◆文学部
 - 英語・英米文学科長 教授 エドワード・フォーサイス
 - 学務主任 教授 吉永 直子
 - 教授 吉永 直子
 - 教授 福 偉良

父母と教職員の会
総会・懇談会報告と
年間行事のお知らせ

五月二十五日(土)、本学にて二〇一九年度父母と教職員の会総会・懇談会が催されました。総会では、佐藤和博会長が議長となり、以下の議案について話し合われました。

- 第一号議案
 - 二〇一八(平成三十)年度活動報告及び収支決算報告について
- 第二号議案
 - 二〇一九(令和元)年度活動計画(案)及び収支予算(案)
- 第三号議案
 - 役員改選について
 - なお、役員については次のとおり決定されております。
 - 会長 佐藤 和博 (本学教授)
 - 副会長 三上 恒寛 (留任)
 - 監事 塚本 正仁 (留任)
 - 監事 佐々木正晴 (本学教授)
 - 顧問 吉岡 利忠 (学長)

総会に続いて行われた懇談会では、学生生活や履修及び単位修得、就職状況等について説明しました。懇談会終了後、保護者からの個別相談に教職員が対応する姿や保護者同士が親しく懇談する姿もみられ、会員同士が親睦を深める機会となりました。今年度の父母と教職員の会の年間行事は以下の通りです。

- 五月二十二日(水) 学内常任委員会
- 五月二十五日(土) 役員会、総会・懇談会
- 七月二十七日(土) 父母・教職員研修会「親のための就職講座」
- 八月二十七日(火) 教職員研修会 (弘前学院合同研修会)
- 八月二十九日(八月三十日)(木・金) 職員研修会(郊外研修)
- 十月十三日(日) 地区別父母懇談会(弘前)
- ※学祭と同日開催
- 十月十九日(土) 地区別父母懇談会(青森)
- 十月二十六日(土) 地区別父母懇談会(盛岡)
- ※七月の父母・教職員研修会と十月の地区別父母懇談会については、別途ご案内をお送りする予定です。

文学部学内就職セミナー報告

文学部 英語・英米文学科4年 藤田 佳奈

私は、今年の3月7日に学内就職セミナーに参加しました。去年も参加していたため、大体の説明会の進み方が分かっていたので落ち着いて行動することが出来ました。また、事前に就職セミナーに参加する企業一覧が配られたため、事業内容に興味があるものがあるかじっくり考え、すぐに動けるようにブースの場所も確認することができました。企業説明を聞くなかで自分がこの企業で働くイメージが出来るかを考えました。今回の就職セミナーに参加し、希望する企業から無事内定をいただくことが出来ました。

企業説明会では、事業内容、基本理念、求める人材、選考スケジュール、待遇などについて説明されます。私はそのなかで、基本理念と求める人材について

自分が当てるはまるかというところ、人の役に立てるかというところに重点をおいてお話をききました。私は5つの企業のお話を伺いました。人々の安全を守る仕事として警備業界を志望しており、2つの警備会社のお話を聞きました。そのお話のなかで東京オリンピックを控えて安全を守る仕事の重要さを感じました。それぞれの企業の方がしっかりと説明してくださり、この企業で働いてみたい、と感じる企業がいくつかあることが出来ました。

2つの警備会社の他に、お話を聞く中で特に学生と目を合わせてお話ししてくださる方がいて好印象だと感じました。また事業内容も興味深く、人の役に立ちたい人を求めているということと聞いて、単独説明会に参加

することを決めました。そして選考に応募し無事に内定をいただくことが出来ました。今回の就職セミナーでは、志望している業界だけでなく、他の業界や企業のお話も伺うことができ、自分に合う企業を見つけることが出来ました。今回は学内就職セミナーに参加し、企業説明のなかで、選考に関する情報を知ることが就職活動の第一歩になると感じました。また、今回の就職セミナーの企業説明のなかで分からない点



や疑問に思った点をすぐに聞くことができました。筆記試験はどのような試験をするのか、面接試験ではどのような部分を重視しているのかという質問にも答えられる範囲で答えていただき、貴重な機会だったと感じました。私は就職セミナーに参加し、働きたいと思える就職先に出会えたため、どうしたらいいかわからないという人は、参加してみてもいいと思います。良いと感じました。

英語・英米文学会総会・新入生 Welcome Party (1/15)

4月23日(火)に新1号館のラーニングcommonsで2019年度の英語・英米文学会総会と新入生ウェルカムパーティーが開催されました。英語・英米文学科の学生の半分以上が参加しました。総会では、2018年度決算報告と2019年度予算案が提示され、承認されました。学会委員より2018年度学会活動報告や2019年度学会行事案の説明があり、こちらも承認されました。

ト、クラブ・サークル、勉強など、大学でのより良い過ごし方についてのアドバイスを求めています。学生たちはドーナツを囲みながら、新しい交流の機会を楽しんでいました。

英語・英米文学会では今後も様々なイベントを予定しています。今年度のイベントのスケジュールは以下の通りです。
(文責: エドワード・フォーサイス)

7月25日 英語弁論大会
9月21日 イングリッシュキャンプ
10月31日 ハロウィンパーティー
11月 英語・英米文学会主催講演会
12月6日 クリスマスパティー



看護学部学内就職セミナー・病院合同説明会

看護学部 看護学科4年 松橋 紗希

5月11日、学内で開かれた病院合同説明会に参加しました。初めて参加したのは3年生のときでした。その時は、就職したい病院や就職する上で自分自身が重要視したい部分などが定まっておらず、「まだ時間はたくさんあるから大丈夫。様々な病院の説明を聞いてこれからの参考にしよう」という思いが強かったように思います。しかし、4年生になると昨年とは違い、実習や卒業研究、就職活動など様々なことが重なり、また同時進行で進めていかなければいけないことが多くなり、自身に余裕がなくなり始めてきていました。そのため、学内にいて多くの病院の情報を得ることができ、また比較できるこの機会を大切にしようという思いが強くありました。自分は将来どのような看護師として働きたいのか、この病院だからこそできることは何かなど、受身の姿勢ではなく、疑問に思うことやもつと情報を得たいことをたくさん質問し、有意義な時間の中で閲覧できます。 http://www.hirogaku-u.ac.jp/faculty/bungaku/activty/e_literature/

5月11日、学内で開かれた病院合同説明会に参加しました。初めて参加したのは3年生のときでした。その時は、就職したい病院や就職する上で自分自身が重要視したい部分などが定まっておらず、「まだ時間はたくさんあるから大丈夫。様々な病院の説明を聞いてこれからの参考にしよう」という思いが強かったように思います。しかし、4年生になると昨年とは違い、実習や卒業研究、就職活動など様々なことが重なり、また同時進行で進めていかなければいけないことが多くなり、自身に余裕がなくなり始めてきていました。そのため、学内にいて多くの病院の情報を得ることができ、また比較できるこの機会を大切にしようという思いが強くありました。自分は将来どのような看護師として働きたいのか、この病院だからこそできることは何かなど、受身の姿勢ではなく、疑問に思うことやもつと情報を得たいことをたくさん質問し、有意義な時間の中で閲覧できます。

方や就職先など、将来を見据えて考えていくことの重要性を強く感じました。自分自身のこととして捉え、積極的に参加したことによって、就職したい病院や将来どのように働いていきたいのかなどが明確になり、自分の看護観を振り返るとともに、深めることができました。今は、上手くいくことばかりではなく悩むことも多々ありますが、今持っている看護観を大切にし、また実習でどんどん深め、成長していくことができるよう努力していきたいと強く感じました。



平成30年度 韓国の医療・福祉施設視察ツアーに参加して

社会福祉学部 社会福祉学科2年 金ヶ崎七虹

本学に入学し、約1年間「福祉」について学んできた。大学での講義のほかに、地域活動への参加や、ゼミを通して地域課題について触れる場面も多くあった。そこでよく耳にするワードが「北欧の福祉」である。この北欧の福祉の特徴は「高福祉・高負担」という、負担は大きい、社会福祉や保健サービスは誰でも公平に受けられる等の、さまざまな特徴をもっている。では、北欧以外の国はどのような福祉制度なのだろう。比較的距離の近い国、韓国は福祉においてどのような特徴があるのだろうか。そんなことを考えていたところ、この「韓国の医療・福祉施設視察ツアー」が行われることを知った。実際に韓国に行き、現場で働いている方のお話を伺える機会というのはめったにないことだと思い、ツアーの参加に至った。

5泊6日の日程で、鐘路老人

総合福祉館、ソウル神学大学、ウンピョンデイケアセンター、景福宮、シロアム視覚障がい者センター等、様々な福祉施設や協定大学を訪問し、地域特性に合った支援や、幅広いニーズに応じたプログラムについてのお話を聞くことができた。

今回の研修では、歴史、文化、施設見学を通し、自分の知らないことの多さに悔しさもあったが、それ以上にモチベーションを高める機会にもなった。この気持ちを持ち続け、今回の経験を活かしてこれからも学びを深めていきたい。

二〇一八年度卒業生の就職率は、文学部、社会福祉学部、看護学部のいずれも一〇〇%であり、大学全体の県内外就職比率は県内五二・二%、県外四七・八%となっている。

二〇一八年度卒業生の就職率は、文学部、社会福祉学部、看護学部のいずれも一〇〇%であり、大学全体の県内外就職比率は県内五二・二%、県外四七・八%となっている。

充実した6日間を通して学んだことは「相手を知る」ということである。これはどの施設でも一番心がけていたことであり、福祉の領域では特に必要とされることではないだろうか。相手を知らなければ、理解ができない。理解ができなければ、支援ができないからである。支援者と利用者の関係は、相互理解から始まるものだと考えられる。では、心の一方通行を避けるためにはどうするべきなのか?これこそが大学で学べるものであり、自主的に学ぶべきものでもある。しかし外から得た知識を、頭の中に留めておくだ



私の夢

文学部 英語・英米文学科1年 鈴木さくら



私の夢は教職に就くことです。私の尊敬する人物の一人に中学校在学時代の担任の先生がいます。担当教科は英語で、英語の苦手だった私に、優しく丁寧に教えてくれました。生徒とのふれあいを大事にし、生徒一人一人に合う学習法を考えてくれて、生徒からとても慕われていました。

私は英語を学ぶことの楽しさを当時の担任の先生から教わりました。それから学習に対する意欲が高まり、より充実した学校生活を送ることができました。

生徒の生活の一部となり、支え生徒の学校生活を充実したものにさせることができる教職に魅力を感じ、教職に就きたいと思っ

た。私は将来の自分の可能性を広げるために多くのことに関心を持ち、いろいろなことに挑戦したいです。

「新しい視点」を学ぶ楽しさ

文学部 日本語・日本文学科1年 武田 佳久



私は本を読むことや漫画を読むことが好きだったので文学部日本語・日本文学科に入学しました。大学の授業は1回90分と聞いていたので高校生の時より30分長い授業で集中し続けられる心配でした。また、専門的な内容になるの

でついでいける心配でした。しかし実際に講義を受けて思ったことは授業が面白くて90分があつという間に過ぎてしまうということです。確かに授業は専門的な内容で難しいです。しかし、自分が興

味を持った講義を受けているので「難しい」より「楽しい」「もっと知りたい」という気持ちが勝つのだと思います。もちろん苦手な科目もあります。しかし、レポートや期末試験などといった授業の成果を試す機会がある以上予習、復習を大事にしていきたいと思っ

性を持っています。私は「自由には責任」が伴うと感じました。講義の出席、レポートの提出、小テスト、期末テストの結果それが大学生活において一番重要な単位に係わってきます。頑張った分、さぼった分、全部自分に返ってくるので、自分に厳しく努力していきたいと思っ

た。大学に入って講義を受け、一番強く思うことは今まで自分は狭い範囲でしか物事を考えていなかったということです。講義を受け新しい考え、新しい視点に気づかされます。この大学でたくさん学んでこれから自分が生きていく糧にしていきたいです。

私はこれから弘前学院大学でいろいろなことに興味、関心を持ち、積極的に学習に取り組んでいきたいと思っ

ています。弘前市役所の職員を志す理由は、弘前に対する愛着にあります。私が中学生だった頃は、東京に出て仕事をしたいと思っ

ていました。しかし、弘前を舞台にした漫画がヒットし多くの観光客が訪れていることを知って、地元の名産が上がっていると感じ、私も弘前を活性化させる仕事ができるのだろうかと思っ

ました。そんな私が、なぜ本学の社会学部で学ぶことを決めたかという、社会学部の勉強が自分の

目指す地方公務員への道に直結していると考えているからです。本学の社会学部では、ソーシャルワークに関して、適切なコミュニケーションの取り方、政治や法律、社会について学ぶことができます。

本学に入ってから、およそ三ヶ月が過ぎました。社会学部では、様々な人と関わることで、社会を広い視点で見ることができ、かつ自分の意見を持つことが大切だと考えています。自分が見ている社会のビジョンが他の人が見ているビジョンと違うことを理解し、多くのことに疑問を持って生活することの大切さを感じることがあります。これは社会学部を志す人にとって大切なことだと思っ

ています。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にい

たいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ

私の夢

社会学部 社会学科1年 笹森 健太



私の将来の夢は、地方公務員になることです。その中でも、私は弘前市役所職員になって、弘前の活性化のため尽くしたいと思っ

ています。私が弘前市役所の職員を志す理由は、弘前に対する愛着にあります。私が中学生だった頃は、東京に出て仕事をしたいと思っ

ていました。しかし、弘前を舞台にした漫画がヒットし多くの観光客が訪れていることを知って、地元の名産が上がっていると感じ、私も弘前を活性化させる仕事ができるのだろうかと思っ

ました。そんな私が、なぜ本学の社会学部で学ぶことを決めたかという、社会学部の勉強が自分の

目指す地方公務員への道に直結していると考えているからです。本学の社会学部では、ソーシャルワークに関して、適切なコミュニケーションの取り方、政治や法律、社会について学ぶことができます。

本学に入ってから、およそ三ヶ月が過ぎました。社会学部では、様々な人と関わることで、社会を広い視点で見ることができ、かつ自分の意見を持つことが大切だと考えています。自分が見ている社会のビジョンが他の人が見ているビジョンと違うことを理解し、多くのことに疑問を持って生活することの大切さを感じることがあります。これは社会学部を志す人にとって大切なことだと思っ

ています。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にい

たいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ

「青い目のお人形」調査から解説ガイドへ

文学部 日本語・日本文学科4年 小山内菜摘

今回の宣教師館の企画「ガイドを振り返ってみると、あつという間違ったと思います。「青い目のお人形」の企画が決まり、調査をし、宣教師館の特別公開が始まるまでのこの1年間は体験したことのない事ばかりでもとても楽しかったです。自分達で企画を考えることも、その企画の為に実際に話を伺いに行くこともすべて新鮮で、悩んだり落ち込んだりしたこともありましたが、最後は楽し

るたかさんの人とコミュニケーションをとって、地域社会が抱えている問題を様々な視点で見つめ、その問題の改善策や、市民の意見を取り入れ、街の改良案、地域発展に向けての事業案を考えることができるような地方公務員になるためにも、この社会学部で勉強に励み、自分の目指す将来のために努力を重ねていきたいと思っ

ています。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にい

たいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ

た。私は、この社会学部で社会学の知識を使い、将来は弘前にいたいと思っ



した。「青森の青い目のお人形を集めて展示している部屋では、お人形を見に来た人達が楽しそうに写真を撮り、日本から贈られたお人形の写真を見せている部屋では、置かれていた睦子さんの等身大パネルを見て驚いている方が多くいらつしました。最終日には達成感や無事に終了した事に対する安心感もありましたが、「もう終わりなのか」という驚きもありました。「もっとこうすればよかった」と思う部分もありましたが、それも含めて今回この企画に参加することができて良かったと思っ